

## 平成30年度（神奈川県立菅高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

### ○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	公務員としての自覚を持ち、心に隙を作らない意識の徹底を図る	日常より全職員に声をかけ、気になる場合には随時個々に面談を実施した。また、相談しやすい雰囲気づくりに努め、報告、連絡、相談がスムーズにできるよう努めたことにより、公務員としての自覚を持ち、心に隙を作らない意識の徹底が図れた。
わいせつ・セクハラ行為の防止	常に相手の立場を意識した言動を心がけるとともに、あらゆるわいせつ・セクハラ行為を許さない、見逃さない学校環境を整備する。	職員会議の機会等を活用し、管理職から事例報告や注意喚起を行ったことにより、常に相手の立場を意識した言動とわいせつ・セクハラを許さない環境整備ができた。
体罰、不適切な指導の防止	生徒一人ひとりが置かれた状況を理解し、それに相応しい指導・支援を行う。	生徒に対して指導する際には必ず複数の職員で行うことを徹底するとともに、外部講師による生徒理解の方法や重要性について研修会を開催したことにより、生徒一人ひとりがおかれた状況を理解した対応や指導・支援を行うことができた。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱に係る事故防止	入学者選抜業務における留意すべき点を明確にし事故を未然に防止する。	入選委員会を中心に全体の流れを十分に把握した後、シミュレーションを徹底して行い、新たなシステムに適応した自己防止対策を行ったことにより、事故を未然に防止することができた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	文書等の適正な管理を徹底し、個人情報の不適切な取扱いや流失等の未然防止を徹底する。	個人情報を含むすべての文書等について規定に則し適切な管理を徹底したことにより、個人情報等の不適切な取扱いや流失を未然に防止することができた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規の遵守の徹底を図る。	事例の紹介や法令遵守について機会あるごとに職員に呼びかけるとともに、職員相互の声掛けを行ったことにより、交通法規遵守の徹底が図れた。
業務執行体制の確保（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	会議・打合せ等で職員の意識向上とモラルの維持を図り、組織としての業務遂行に自覚をもって取り組む。	学年、グループ、教科ごとの定例会議や打ち合わせを実施し、業務の進捗状況の把握や生徒情報の共有を図ったことにより、チームとして業務遂行する体制を確立した。
会計事務等の適正執行	会計マニュアルによる適切な私費徴収・執行事務を徹底する。	私費会計マニュアルに則って伝票作成、執行、事後処理の各段階で複数のチェックを徹底したことにより、会計業務での事故の未然防止ができた。また、会計業務の手順等においても職員の理解が深まった。

○ 平成30年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と平成31年度に取り組むべき課題  
(学校長意見)

平成30年度菅高等学校不祥事ゼロプログラムの検証の結果、すべての取り組みにおいて不祥事ゼロを達成できた。この検証結果を本校ホームページで公表する。また平成31年度も引き続き平成30年度と同様の取り組むべき課題、目標、行動計画により不祥事ゼロの継続に邁進し取り組んでいく。